



第174号 BenHouse 編集人 尾上大輔 (記事はあくまでも編集人個人の私感でございませぬので悪しからず。) www.benhouse.co.jp

「人生の一大イベント、娘を嫁に出す」

わが家の絵美ちゃんやつと重い腰を上げて、結婚が決まりました。さて男親にとつて娘をやるってのはどんな気持ちなんだろうね。3ヶ月前から2人でいるいる式場の下見周り。仏滅の日は結婚式がないので、どこも内覧会を開催していません。それも本格的でスタッツがモデルになった教会で擬似結婚式を見せたくれます。また食事も実際に食べさせてくれませう。やつば人生の一大イベント、百万円の投資なのでみなさん色々回つてみるみたいですね。最近の結婚式場をばしごするそうなの。お金がないとびもじいときにはおもしろいシステムです。ね。会場の雰囲気とスタッツ。皆さんの親切さ。親身になつてくれたスタッツさんのと

ころに決まることが多い。人間力つて大事です。ね。大ちゃんはお嫁が東京出身、嫁が姫路出身、職場はどちらもお大阪なので、大阪駅そばのホテルが良いとアドバイスしていただきました。神戸の異人館が良いとかが、ホテルモントレが良いとかが、ホテルモントレが良かった。ね。最終的にレトロな感じの中世のプラハをイメージした、ホテルモンテレー折に決定しました。紆余曲折の末、親の意見どおり大阪駅近くのホテルに決まりました。スポンサー強しであります。11月に結婚式をやることに。今は家でなくホテルのレストランが一般的であります。え、この間、倉庫を整理して納飾して40年ぶりに発見。ご立派でみ



かん箱2箱分位ある。姉ちゃん結婚飾りどうする？ 要らんから捨てとつて？ 預り料は一体いかに程でしようか？ だから当然結納品はレンタル。結納式の司会進行もレンタル屋さんやつてくださつて、楽チン楽チン。素晴らしい品々誠にありがとうございます。つまみは、だつたかな。大ちゃんは何で結納したいか？ 最近のカップルつて直ぐ止めちゃうたり離婚したりするじゃない。もう戻れないよ、それでいいですか？ 覚悟を試してみたいもんやね。いわば踏絵踏絵、この段階も無事完了。最近はお色直しの時間を減らす為、カップルの写真は前撮りが大半です。我社の社員たちも、おすみません前撮りな言つて来たな。時代でございませぬ。ね。12月娘は、初旬に少し紅葉が残つた姫路



城にて行いました。衣装代を含めて費用は14万円。だわらんやね。男はこの辺はどうでもいいんやけど女はこだわらね。この辺は女性リードで進んでいく。将来のカカア殿下が着々と見えてくる。続いてウエディングドレスの衣装選び。これがなかなか迷つちやつて大変でありました。ああでもないこうでもない、迷つて迷つて。母親が登場してもまだまだ決まらない。全部で5回くらい選びに行つたのにな。だんなさんはいやにならないうかな。おとなしく付き合つてくれなよう、優しい人でよかつたなあ。次は料理選びの試食会。続いて引き出物選びへ移る。全て専任スタッツの人がタイムキーパーによるおかげさまで結婚式の準備が無事完了。さすが結婚式のアロです。このスタッツの親切、絵美ちゃんも感激して



結婚式の後プレゼントをお届けしたほどです。お客様にそこまで信頼をもらうとはモントリーさん恐るべし。ついに結婚式当日、いつもと変わりがなく6時起床。結婚式は15時からなので車で慎重に向かう。ハレの日に何かあったら困るもんね。12時に到着、女性部隊はいっせいに化粧・セット・着付けと忙しいこれは戦場だな。大ちゃんの衣装はレンタルです。3万円と5万円どちらになさいますか？3万円（10秒で決定）初めてモーニングなる物を身につける。ネクタイはシャツの縦エリの外側にする。19世紀の古い映画の紳士のよう。14時から教会で予行演習です。娘と腕を組んで足を合わせて左足・右足と進んでいく。練習を2回くらいする。この歩き方をウエディングステップとか言っていましたね。途中まで行ったら、だんなさんに娘を引渡し自分は席に座る。練習が終わわり、本番前。なぜか教会の隣、室で、だんなさん、二人きり。話



すことないやん沈黙と、いきたいところだが、婿殿は大ちゃんよにもさらに無口、こちらが話しかけてやるしかないが。緊張するな。出て。三指ついてお父様今までお世話になりました。絵美は今日けいちやんと結婚します。がなかつたやん。省略されちやつたのね。外では招待客が教会に入っていく。入り終わつたところで、教会の扉の外で娘と手を組む。そして扉が開き、母親がベールを上げる。少し間が空き、セーの。セーの。と娘がつぶやく。何？。そやそや左・右やつたな、はつと思ひ出す。ほれ行くぞタタタタタ・タタタタ・左・右と中程まで進んでいく。ここで娘を婿殿に渡す。お役ごめんでありますので席へ戻る。重大ミツシヨン終了。お二人さんは誓いの言葉・署名・指輪交換と進んでいく。最後に名入りのプレートを釘で打ちつけて終了です。教会の外でのブーケ



トスは寒いのでなし。娘は遅行きなので女子はほとんど既婚者なので影響なかったか。次は待ちに待った披露宴であります。飲める飲める飲めるぞ。酒が飲めるぞ。ほどなく結婚式が始まる、オーブニングはデイズニー風のプロシエクシヨンマツピングです。まあなんておしやれなんですよ、我が娘ながら感心する。続いて花嫁花婿登場であります。娘はニコニコ、こんな笑顔は見たことない。よっぽどうれいんでしようね。良かったねよき伴侶に恵まれて。もう年なんだからこの辺で我慢しときなさい。とは、決して言つてはいけません。うまくいらずに帰ってきたら、その後一生言われることになる。それだけは言わなくて良かったと胸をなでおろす。まずは来賓挨拶・乾杯と続いて、余興タイム。絵美の同僚のANAの仲間達6人のANA機内アナウンス結婚式編、これはおもろかったな。皆様本日113はANA113便にご搭乗、誠にありがとうございました。



ます。と機内アナウンス風に6人でまわしていく。救命胴衣の付け方のアナウンスで、新郎にエプロンをつけて、緊急着陸態勢といつて両手を頭にそのまみぎの間で下げてください。そして言われたセリフ。ごめんさない。これには会場も大笑い。やつらはおもるいな。ANA同僚の結婚式では必須のアイテムとか。大ちゃん初めて聞いてビデオ撮りに夢中で写真はなし。お料理も若い二人ながらおいしいものをそるえていました。中でもお茶づけバイキングは初めてでした。最後に両家の挨拶と娘からの手紙。ここで世のパパたちはうるうるするが、大ちゃんはどうもなし。結構わが家のパパはクールかもです。結婚式つて昔は親がやつたもんだけど、最近では完全にカツパルで楽しんでる。なんか娘もビデオ編集等に当日明け方までかかっていたそうです。本当にこだわり娘ちゃんでした。これで

